

善了寺ニュース7月号

今月の主なメニュー

- 1, 善了寺日記
- 2, 行事案内
- 3, お知らせ
- 4, 住職雑感

発行責任：浄土真宗本願寺派

善了寺住職 成田智信

第193号

発行日：平成24年7月1日

善了寺日記

梅雨がまだまだ続く中みなさんいかがお過ごしでしょうか。

報恩感謝の心を具体的な行動に

いよいよ七月を迎えます。早いものですね。聞思堂落慶法要まで、あとという間に三カ月、準備をすすめています。十月八日(祝日)は是非お参りください。先日、夏至キャンドルナイトウィークを行いました。ご懇志もいただき大勢のみなさんにご参加いただき無事に終えることができました。心から御礼申し上げます。聞思堂の存在の重みを感じる行事でした。聞思堂にはご門徒のみなさんと共に、全国各地から延べ約二五〇名を超える方々がボランティアとして、土壁づくりに参加してくださいました。今回のキャンドルナイトでは、ボランティアのみなさんにもご案内させていただきました。あらためて、お会いすると感謝の思いでいっぱいになります。お互いに温かい気持ちで会うことができました。

ご門徒のみなさんと共に一〇月八日に落慶法要をお迎えできる日が楽しみです。住職、一人では決して建築することはできません。実際に土壁づくり、穴太積み石張りを体験したとき、また、日々の掃除の中で、実感します。善了寺役員会の皆さんのご英断、女性会・壮年会のみなさん、そして、日頃からお寺を大切にしてください。ご門徒のみなさん、お一人おひとりの阿弥陀様にお参りするところが形作られて聞思堂は生まれました。

そこには、阿弥陀如来様のお導きがあり、先を歩かれた大勢の先人方から頂いた、御恩が息づいているのです。本当に有り難いことです。

御恩報謝のころを具体的な形にしていけることが大事だと思えます。「すべてのお寺は平和のためにある」よく引用する、思想家サティッシュ・クマール師の言葉です。その中心は阿弥陀如来様の大慈悲です。お寺の存在のよりどころは、阿弥陀如来様の智慧と慈悲であり、具体的には御本願です。誰もが救われていく道、それは、誰もが生まれてきた意味を、誰もが老いていく意味を、誰もが病にかかっている意味を、そして誰もが死を迎える意味を、この人生に他力の光として恵まれ、今ここから、苦悩を越えて、浄土を願う人生を歩むことができる教えです。

煩惱は深く、決して個人の能力の差だけでは、解決出来ない問題が山積しています。まるで、世界中が蚕が糸を吐き自分で繭を作るように、迷いの殻の中に閉じこもっていくようです。先日のキャンドルナイトでは、発明家の藤村靖之先生が、アインシュタインの言葉を引用されて

「ある問題を引き起こしたのと同じマインドセット(心の枠組み)のままでは、その問題を解決することはできない。」

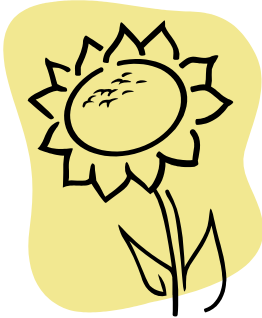
この言葉を中心に、マインドセットを超えていくにはというお話しをされていました。こころの枠組みを私自身味わってみると、「そうしなければ生きることができなかつた」苦悩を抱えた私のこころと捉えていくことができるのではないのでしょうか。「そうしなければ生きることができなかつた・・・。」という深い悲しみを自らのこころの枠組みと捉えることができるのは、その苦悩を自らのこととして受

け止めてくださる慈悲をよりどころとした時にはじめて受け止めることができると思います。この枠組みを受け止めて、その苦悩を越えていく道を切り開くのが、阿弥陀様の願いです。誰もが救われていく願いを賜り、凡夫の私が凡夫のままに、この人生を意味ある人生として生きることが出来る。それは、誰もが平和を願い日々の日暮らしをおくっていくことと決して別のことではありません。平和は、一部の権力によって創られていくものではありません。私達一人ひとりが当事者なのです。誰もが救われていくという阿弥陀如来様の願いこそが、私達の苦悩を超えていくよりどころとなるのです。

この夏は、節電が叫ばれていますが、私達の節電は、誰もが救われていくという願いのもとに、自分自身の生活を見直す尊いご縁と頂いてゆきたいものです。今までのように、電気をじゃぶじゃぶ使わないと平和はこないのでしょうか。しあわせにはなれないのでしょうか。阿弥陀様と共にこの枠組みを見つめてみましょう。

迷うこともたくさんあります。しかし、阿弥陀様が御一緒です。太陽も山も風も空気も川も水も大地も・・・そして、共に浄土を願う苦悩を越えていく仲間も一緒です。正義を振りかざすのではなく、大慈悲のこのころをよりどころに、

私達の生活を見つめ直し、一歩踏み出していきましよう。それは、報恩感謝のこのころを具体的な生活にいかす大きな一歩になると思います。



7月・8月の行事予定

定例法話会 7/8(日) 14時

講師 本願寺布教使 宮本義宣 師

テーマ 拝読 浄土真宗のみ教え

「必ずふたたび会う」

よこはま地域ケア研究会

『～いま考える だいじなこと～震災から学んだ医療と介護』 7/13(金)18時

講師 「ひぐらしのいえ」代表安西順子さん

親鸞聖人月命日・浅井成海先生月命日

「愚の力」輪読会 7/16(祝日)9時

第7回お寺のサマーキャンプ

7/20(金)～21(土)

おみがき 7/26(木) 11時

今月のカフェ・テラ・テラ

Kine dela Terra～小さな映画館ムーヴメント～

上映作品 :『う ま れ る』

7/27(金)10:00/14:00/19:00

テラヨガ

7/11・25(水)10時・7/14・28(土)18時30分

新盆法要 8/8(水)11時

※新盆の方を対象としたご法要です。

定例法話会 8/8(水)14時

※定例にはどなたでもお参りできます。

講師 本願寺派布教使 季平博昭 師

お盆法要 13日～16日

※期間中毎日 10時・14時にご法要

法輪廟お盆法要 8/15(水) 10時

全戦没者追悼法要・お盆門徒総法要

シャンソン歌手 佐藤慧子さんによる

平和コンサート 8/15(水) 14時

親鸞聖人月命日・浅井先生月命日

8/16(木) 10時

※お盆期間中の為、

輪読会は、お休みします

いっぱい泣いて いっぱい笑って

ふれあいサービス「還る家とともに」

介護保険事業所番号 1471001428

毎週 月曜日～土曜日まで

時間帯 午前10時～午後4時

お気軽にご相談ください。



とつか宿縁日寄席 | N善了寺

日時 7月20日(金) 午後2時頃～午後4時

会場 善了寺

※車でのお参りはご遠慮ください。

※お子様には綿菓子無料プレゼント

午後2時30分頃～寄席 木戸銭

おとな お志で結構です。こども無料

落語 春風亭柳太郎 師匠

たのしい筈もあります。何をするかは当日のお祭

しみ ご高齢の方からお爺さんまで、

笑って、笑って、楽しく過ごしましょう。

とつか宿縁日寄席に 引き続き(予定)

午後4時～

打ち水大作戦参加

※どなたでも参加出来ます。



午後5時00分～

銭湯体験※一泊キャンプ参加者対象

午後6時00分～

夕食 ※そうめん流し(予定)

※一泊キャンプ参加者対象

午後7時30～ タベの集い

午後8時～ 町内夜のパトロール

※矢部町内会を巡回パトロールを行います。どなたでも参加出来ます。

第7回お寺のサマースクール ボランティア大募集

とつか宿縁日寄席と同じ日に、子ども達でお寺の宿泊体験をしたいと思います。ボランティアの皆さんを大募集中です。また、出店のお手伝いもお願いします。是非お力添えをほど御願ひ申し上げます。誰でも参加できます。

日時

7月20日(金)※時間帯はご希望でか
まいません。

縁日の手伝い・子どもの見守り

そうめん流し手伝い・銭湯体験など

7月21日(土)※お昼まで

朝 朝食準備・子どもの見守り など

誰でも参加できます。お友達に声をおかけ頂いて
どうぞお力をお貸しください。

詳しくはお寺にお問い合わせください。

よこはま地域ケア研究会主催

『～いま考える だいじなこと～
震災から学んだ医療と介護』

千葉県松戸市にある通所介護施設「ひぐらしのいえ」。住み慣れた街で、安心して、自分らしく生き生きと暮らし続けていけるようにとの願いをこめて開設されました。この度、「ひぐらしのいえ」代表 安西順子さんを善了寺にお招きし、東日本大震災の震災支援の内容報告など貴重なお話を伺います。皆様お誘いあわせの上、ぜひお立ち寄りください。

☆日時☆ 2012年7月13日 (金)
18:30～20:30

☆場所☆ 善了寺

☆参加費☆ 500円

☆お申込み☆ 不要

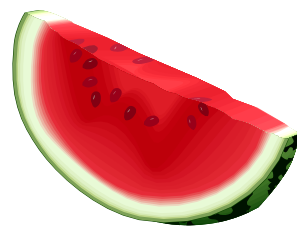
おみがきのご案内

お盆法要前のおみがき
(仏具みがき)です。
みなさんのお力添えを
御願い申し上げます。

7月26日(木)

午前11時～

昼食はご用意致しま
す。



住職雑感～編集後記～

◎聞思堂に福島製の材所で製材し、家具作家の田中英一さんに製作して頂いた机が入りました。今、福島では風評被害で、木材が売れなくなっているそうです。いろいろ悩みましたが、総代ともご相談して、東日本大震災復興支援事業としての聞思堂にふさわしい家具を御願ひすることにしました。本当にすてきです。是非お立ち寄りください。

◎新しいお寺の車、日産リーフがやってきました。住職のお参りでも使わせて頂くのですが、実は、聞思堂の電力をまかなう「動く蓄電池」という意味で購入しました。災害・停電時等の非常電源としても活用することができます。太陽光発電で蓄電し、太陽光発電で走る「動く蓄電池」です。自分自身のマインドセットを問うご縁でした。何でもかんでも、車で移動しようとする生活スタイルそのものが問われます。バンバンスピードを出し、エアコンをガンガンかけていた今までの運転スタイルがいかに暴力的だったか・・・反省しています。今までと同じように走ろうとするとすぐに電池がなくなってしまうです。私達がどうやってエネルギーと向かいあっていけばいいのか考えさせられる車です。電気だけではありません。石油も、ウランも、太陽光も、有限なのです。バンバン使えばすぐになくなります。

◎太陽からも大地からも大自然からも、請求書はありません。大事な事実ではないでしょうか。だからこそ、ダダだと喜ぶのではなく、太陽の恵みも計算してしまう私のマインドセットこそが問われなければならぬと思います。今年の夏もいろいろ考えながら、楽しく過ごしていきたいと思えます。お寺に是非お参りください。